



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社 南陽

コード番号 7417 URL <http://www.nanyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武内 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経営企画室長 (氏名) 篠崎 学

TEL 092-472-7331

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	21,475	△0.1	446	△29.8	477	△24.0	160	△54.7
23年3月期第3四半期	21,496	40.9	635	—	627	—	353	745.6

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 70百万円 (△77.8%) 23年3月期第3四半期 317百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	25.13	—
23年3月期第3四半期	55.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	25,747	9,906	38.5
23年3月期	26,353	9,899	37.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 9,906百万円 23年3月期 9,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	1.7	500	△33.5	500	△31.7	200	△52.8	31.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	6,615,070 株	23年3月期	6,615,070 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	246,941 株	23年3月期	246,891 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	6,368,157 株	23年3月期3Q	6,368,223 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響に加え、原発事故を発端とした電力不足や急激な円高の進行、更には欧州の財政不安やタイの洪水の影響等により、非常に不安定な状況の中で推移しました。

このような状況の中、当社グループの連結業績につきましては、売上高は21,475百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は446百万円（前年同期比29.8%減）、経常利益は477百万円（前年同期比24.0%減）、四半期純利益は160百万円（前年同期比54.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 建設機械事業

建設機械事業におきましては、東日本地区を中心に震災復興需要が徐々に出始めたものの、九州地区においては先行きが不透明なことから設備投資抑制の動きが続く中、既存顧客への提案強化に努めるとともに、高付加価値商品の販売強化にも努めてまいりました。この結果、売上高は9,450百万円（前年同期比1.9%増）となりましたが、取引先の信用悪化に伴い貸倒引当金を積み増した結果、セグメント利益は173百万円（前年同期比37.6%減）となりました。

② 産業機器事業

産業機器事業におきましては、大手電子部品・半導体メーカーの震災による影響は一部を除き限定的なものにとどまる中、スマートフォンや省エネルギー分野を始めとした開発案件の提案強化に努めるとともに、継続して生産部品・消耗部品の販売強化に努めてまいりました。しかしながら、第3四半期に入り電子部品・半導体業界全体が調整局面をむかえたことから、売上高は11,754百万円（前年同期比1.3%減）、セグメント利益は552百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

③ 砕石事業

砕石事業におきましては、公共工事は低迷を続けるとともに、民間工事についても本格的な回復の兆しが見られない中、補修工事や護岸工事を始めとした中小規模の公共工事の受注獲得に努めるとともに、民間への提案強化にも努めてまいりました。しかしながら、工事減少の影響を受けた結果、売上高は270百万円（前年同期比13.8%減）、セグメント損失は7百万円（前年同期はセグメント利益15百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産は、前連結会計年度末に比べ606百万円減少（2.3%減）し、25,747百万円となりました。増減の主な内容は、有形固定資産のその他が266百万円増加したものの、貸与資産が453百万円、商品及び製品が307百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ612百万円減少（3.7%減）し、15,840百万円となりました。増減の主な内容は、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が328百万円、長期借入金が165百万円それぞれ増加したものの、リース債務が443百万円、支払手形及び買掛金が436百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ6百万円増加（0.1%増）し、9,906百万円となりました。増減の主な内容は、その他有価証券評価差額金が49百万円、為替換算調整勘定が40百万円それぞれ減少したものの、利益剰余金が96百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は38.5%と前連結会計年度末に比べ0.9ポイント上昇いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期連結業績予想につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,923,407	1,928,751
受取手形及び売掛金	12,971,719	12,824,225
商品及び製品	1,555,801	1,248,686
貯蔵品	2,681	1,854
その他	1,032,880	1,442,496
貸倒引当金	△441,344	△664,239
流動資産合計	17,045,146	16,781,774
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産(純額)	5,416,735	4,962,836
その他(純額)	1,913,376	2,180,277
有形固定資産合計	7,330,111	7,143,113
無形固定資産	51,222	38,934
投資その他の資産		
投資有価証券	913,730	849,514
その他	1,371,441	1,224,484
貸倒引当金	△384,900	△328,315
投資その他の資産合計	1,900,271	1,745,683
固定資産合計	9,281,605	8,927,732
繰延資産		
開発費	26,507	37,625
繰延資産合計	26,507	37,625
資産合計	26,353,259	25,747,131
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,094,036	6,657,472
短期借入金	2,565,000	2,833,703
1年内返済予定の長期借入金	900,000	960,000
リース債務	2,075,569	1,632,565
未払法人税等	116,370	165,921
賞与引当金	159,734	88,180
割賦利益繰延	1,154,360	1,108,356
その他	1,021,197	875,904
流動負債合計	15,086,267	14,322,105
固定負債		
長期借入金	525,000	690,000
退職給付引当金	278,347	264,993
役員退職慰労引当金	89,576	92,680
その他の引当金	344,699	351,006
その他	129,457	119,660
固定負債合計	1,367,079	1,518,341
負債合計	16,453,347	15,840,446

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,181,875	1,181,875
資本剰余金	1,015,305	1,015,305
利益剰余金	7,870,993	7,967,310
自己株式	△230,922	△230,945
株主資本合計	9,837,250	9,933,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121,675	72,460
為替換算調整勘定	△59,014	△99,319
その他の包括利益累計額合計	62,660	△26,859
純資産合計	9,899,911	9,906,685
負債純資産合計	26,353,259	25,747,131

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	21,496,431	21,475,129
売上原価	18,372,968	18,490,566
差引売上総利益	3,123,462	2,984,563
割賦販売未実現利益戻入額	338,334	342,267
割賦販売未実現利益繰入額	409,862	291,412
売上総利益	3,051,933	3,035,417
販売費及び一般管理費	2,416,857	2,589,312
営業利益	635,076	446,105
営業外収益		
受取利息	14,971	15,621
受取配当金	9,389	13,181
持分法による投資利益	19,388	18,922
貸倒引当金戻入額	—	22,518
その他	58,994	49,483
営業外収益合計	102,744	119,727
営業外費用		
支払利息	87,484	73,390
その他	22,764	15,409
営業外費用合計	110,248	88,799
経常利益	627,572	477,033
特別利益		
固定資産売却益	358	103,080
関係会社株式売却益	2,000	—
貸倒引当金戻入額	32,068	—
償却債権取立益	8,397	—
その他	4,962	—
特別利益合計	47,786	103,080
特別損失		
固定資産売却損	158	61,195
固定資産除却損	2,624	12,946
投資有価証券売却損	250	—
投資有価証券評価損	—	394
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,566	—
特別損失合計	4,599	74,536
税金等調整前四半期純利益	670,759	505,577
法人税、住民税及び事業税	292,898	243,944
法人税等調整額	24,850	101,619
法人税等合計	317,748	345,563
少数株主損益調整前四半期純利益	353,010	160,013
四半期純利益	353,010	160,013

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	353,010	160,013
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,063	△44,077
為替換算調整勘定	—	△21,020
持分法適用会社に対する持分相当額	△14,346	△24,422
その他の包括利益合計	△35,409	△89,520
四半期包括利益	317,600	70,493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	317,600	70,493

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	9,277,771	11,904,556	314,103	21,496,431	—	21,496,431
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	74,275	6,016	—	80,291	△80,291	—
計	9,352,046	11,910,573	314,103	21,576,723	△80,291	21,496,431
セグメント利益	278,611	594,293	15,676	888,581	△253,504	635,076

(注) 1 セグメント利益の調整額253,504千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	9,450,483	11,754,012	270,633	21,475,129	—	21,475,129
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	45,559	6,489	—	52,049	△52,049	—
計	9,496,043	11,760,502	270,633	21,527,178	△52,049	21,475,129
セグメント利益又は損失 (△)	173,730	552,270	△7,097	718,904	△272,798	446,105

(注) 1 セグメント利益の調整額272,798千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。